

世界平和アピール 七人委員会講演会

世界平和アピール七人委員会は、出版社「平凡社」を創設した下中弥三郎さん（丹波篠山市出身）の世界連邦思想に賛同した、不偏不党の知識人・文化人が集まり、昭和30年に7人で結成されました。その後、「世界平和をめざして」「命を大切にする世界をめざして」、社会にアピールを続けられています。

本講演会は、下中弥三郎没後50年記念事業を、生誕の地である丹波篠山市で開催したのを始まりとして、本年で9回目を迎えます。

令和元年度は、日本を代表する宗教学者の島蘭進さんを迎え、「戦争の記憶と悲しむ力の回復」と題してお話しいたします。

島蘭 進さん

専門は宗教学。1948年東京生まれ。上智大学大学院実践宗教学研究科委員長・教授、同グリーンケア研究所所長、同モニュメントニボニカ所長。東京大学名誉教授。大正大学客員教授。日本宗教学会元会長。宗教理論の研究、日本宗教史の研究、死生学、公共哲学、生命倫理などを研究領域とする。著書に、『宗教学の名著30』、『いのちの始まりの生命倫理』、『スピリチュアリティの興隆』、『国家神道と日本人』、『日本仏教の社会倫理』、『日本人の死生観を読む』（湯浅賞受賞）、『宗教を物語でほどく』、『いのちを“つくって”もいいですか?』などがある。



小沼 通二さん

専門は物理学（素粒子理論）。1931年東京生まれ。現在、慶應義塾大学名誉教授。素粒子奨学会会長など。日本学術会議原子核特別委員会委員長、日本物理学会会長、アジア太平洋物理学連合会長、ノーベル平和賞を受賞したバグウォッシュ会議の評議員などを務めた。ハンガリー科学アカデミー名誉会員、素粒子メダル功労賞。J. ロートブラットほか著『核兵器のない世界へ』を共同して監訳（かもがわ出版）、『エネルギーを考える』共著、『アジアの「核」と私たち』共著、『湯川秀樹日記 昭和九年：中間子論への道』編ほか。

平和講演

とき：令和元年 **9月25日(水)**
19:30~21:00

ところ：丹波篠山市民センター 2階 多目的ホール

＜第1部＞19:30~20:30

「戦争の記憶と悲しむ力の回復」

～戦後75年に向けて～



- 1 戦争犠牲者の記憶を新たに
- 2 悲しみに寄り添う
- 3 芸術や物語の力

講 師：島蘭 進さん

＜第2部＞20:30~21:00

「世界平和アピール七人委員会委員による対談」

しまそのすすむ

島蘭 進さん（宗教学者）×

こぬまみちじ

小沼通二さん（物理学者）

主 催

丹波篠山市、丹波篠山市教育委員会、世界平和アピール七人委員会、(公財)下中記念財団

問い合わせ

丹波篠山市市民生活部人権推進課

電話 079-552-6926 FAX 079-554-2332

Eメール：jinken_div@city.sasayama.hyogo.jp

※手話通訳を行います ※託児あり、要申し込み(9/20締め切り)